

小さな幸せ

－地域の活動に尽力される佐々木一幸さんの生き方に学ぶ－

- 1 学年 第9学年〔後期〕
 2 主題名 よりよい自己の追求〔1－(4)〕
 3 ねらい トイレ掃除の活動を続ける中で心の変化を感じた佐々木一幸さんの姿を通して、人間としての生き方についての自覚を深め、理想の自己を目指し、よりよく生きようとする態度を育てる。
 4 資料名 「小さな幸せ」
 5 展開

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 「小さな幸せ」から連想するものを発表する。 ○ あなたにとって「小さな幸せ」とは何でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ おいしいものを食べる。 ・ ゲームが好きだけできる。 	○ 感じ方は人それぞれであることも助言する。
展 開	2 資料「小さな幸せ」を読んで話し合う。 《資料①配付》 ○ 代表世話人となった時、佐々木さんはどんな気持ちだったでしょう。 《資料②配付》 ○ 佐々木さんはどんな気持ちで草抜きを始めたのでしょうか。 ○ 佐々木さんが「幸せだなあ。」と感じたのはどうしてでしょう。 ◎ 佐々木さんの考える「小さな幸せ」とはどのようなものでしょう。 3 自分の生き方を考える。 ○ 佐々木さんの生き方や考え方から、あなたが大切にしたいと思うことや自分の生き方について考えたことは何でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまりやりたくない。 ・ 自分にできるだろうか。 ・ どうして自分なんだ。 ・ 世話人だからやらなければ。 ・ 他の人と比べて悪く思われたくない。 ・ 公園がきれいになって嬉しかったから。 ・ 子どもたちの楽しそうな姿が浮かんだから。 ・ 何かに一生懸命になれること。 ・ 誰かの役に立つ(喜ばれる)こと。 ・ 良い行動がもたらす気持ち。 ・ 自分も幸せだと感じたことがなかったが、自分の周りの小さな幸せに気づけるようになりたい。 ・ 佐々木さんのように偽りでもいいから良いことを続けて自分を変えていきたい。 ・ 小さなことでも一生懸命になれることを見つけていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真などで「呉掃除に学ぶ会」の活動を紹介する。 ○ 活動に消極的な佐々木さんの気持ちに共感させる。 ○ 義務感や周りの評価を考えていたことを押さえる。 ○ 草抜きを始めた時の気持ちが消えていることに気付かせる。 ○ 主人公の幸せが金銭的・物質的なことではないことを押さえる。 ○ 自分を見つめさせることにより自己実現への意欲をもたせる。 ○ 印象に残った言葉や場面にに基づき、発表させる。
終 末	4 教師の説話を聞く。		○ 教師の体験談を語ったり、補助資料(生徒作文等)を紹介したりする。

6 授業の概要

(1) 主題について

理想とは、真理や真実を探求する中で強く意識されるものであり、こうした積極的な生き方を追い求める中でよりよく生きる力が培われる。

一般に中学生の時期は自分自身を深く見つめることができるようになるとともに、自らの生き方についての関心が高くなり、自分の将来に向かって理想を抱くようになる。しかし、中には、現実と理想の狭間で思うようにならない自分や自分自身を取り巻く現実に苛立ちを感じたり、時として投げやりな行動をとってしまう生徒もいる。

指導に当たっては、理想を求め、目標をもって生き生きと生きることが、自分の生活を豊かにすることにつながることを自覚できるようにすることが大切である。そこで、「呉掃除に学ぶ会」の佐々木一幸さんの生き方をモデルとして、自身が体験された心の変化を考えさせることで現在の自分をしっかりと見つめさせ、目標をもちよりよく生きようとする意欲を高めたい。

(2) 自作資料活用のポイント

ア 資料活用の時期

自分の進路決定が身近なこととなる9年生で扱うとよい。特に、進路学習と関連させ、2学期に活用すると効果的であると思われる。

イ 資料の中心場面

中心発問では、佐々木さん自身が感じた「小さな幸せ」について考えさせることで、よりよく生きることが人間の幸せにつながることを感じ取らせたい。

ウ 体験との関連

道徳の時間での学習後に学校行事や生徒会活動等で、「呉掃除に学ぶ会」の方々とトイレ掃除をすると効果的である。抵抗感を感じていた生徒が次第に掃除に夢中になっていく。この時に、感じる自分自身の心の変化や資料だけではつかみきれなかった「小さな幸せ」を感じ取らせたい。

(3) 指導過程の工夫

ア 資料提示の工夫

展開前段で、トイレ掃除の様子等の「呉掃除に学ぶ会」の活動の様子を写真で紹介し、どのような活動であるのか興味をもたせたい。

イ ゲストティーチャーの工夫

読み物資料を通して、話し合うだけでなく、主人公の佐々木さんにゲストティーチャーとして授業に参加していただくことが可能であれば、実際の活動の様子を聞く等の場を設定するとよい。

ウ 補助資料活用の工夫

補助資料として生徒作文を活用することで、トイレ掃除を通して感じた生徒の心の変化からねらいにせまることもできる。



(横路中学校 石田崇子)